

日川協通信 (130)

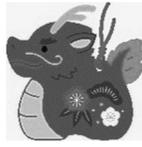
令和6年2月1日



一般社団法人 全日本川柳協会
〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目

電話 (06) 6352-2210
FAX (06) 6352-2433
振替口座 00970-9-3575

<http://www.nissenkyou.or.jp>



ご挨拶

理事長 小島 蘭 幸

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、コロナも落ち着いてきたということもあって全国各地で句会、大会が開催されました。10月22日には、石川県七尾市文化ホールでいしかわ百万石文化祭2023第38回国民文化祭・第23回全国障害者芸術・文化祭が開催され、出席者三百名を越える盛会でした。私は二泊三日で出席して古い街並を散策、美味しい鮎を堪能することが出来ました。

文部科学大臣賞

いのちみな生きてひとつになる祭り

青森県 岩崎 眞里子

令和6年元旦、私は麻生路郎のふるさと、尾道千光寺へ初詣に行きました。家内安全と書いたローソクに火をともし、全国各地の川柳大会が無事開催されますようにとお願い致

しました。

初詣から帰ってほっと一息、テレビをつけて暫くするとその時でした、緊急地震速報が流れたのは。女性アナウンサーの切羽詰まった声、「津波警報が発令されました、ただちに安全な場所に避難して下さい」耳を疑いましたがそれは現実でした。石川県、能登半島震度7、国民文化祭をしたばかりの七尾市の映像に涙があふれます。一日も早い復興を願うばかりです。

さて今年も、現在全日本川柳誌上大会(令和柳多留第5集通巻26号)と第17回川柳文学賞を募集中です。どちらも締め切りは一月末日です。ご応募よろしくお願い致します。

6月16日には、第47回全日本川柳2024年広島大会、11月10日には、第39回国民文化祭ぎふ2024「川柳の祭典」を開催します。是非出席して憧れの川柳作家の生の披露をお楽しみ下さい。

最後にお願ひがあります。全日本川柳協会は現在、加盟柳社の増加に取り組んでいます。ご紹介をよろしくお願い致します。また常任幹事への推薦もお願い致します。

令和6年、厳しいスタートになりましたが、手を取り合っ

令和5年度(12月8日)

東西合同常任幹事会

第3回理事会

場所 II プレミアムホテルキャビン大阪

定足数の確認のあと議事録署名者選出

議案

議案第1号 令和6年度

事業計画(案)承認の件

議案第2号 令和5年度

収支補正予算(案)承認の件

議案第3号 令和6年度

収支予算(案)承認の件

議案第4号 常任幹事推薦の件

その他

第1号議案から第4号議案、その他また慎重審議の結果、議長の報告通り可決成立。最後に議長から謝辞を述べ午後2時30分に閉会した。

第38回 国民文化祭いしかわ2023

文華の粋を詠う in 七尾市 川柳の祭典 (令和5年10月22日)

事前投句1, 388名、当日投句363名

◎入賞句

文部科学大臣賞

いのちみな生きてひとつになる祭り

青森 岩崎真理子

国民文化祭実行委員会会長賞

てっぺんに立てば迷子になるらしい

奈良 加藤江里子

石川県知事賞

傷ついておいでアツプルパイ焼けた

愛媛 正岡 鏡花

石川県教育委員会教育長賞

戦争と平和を兼ねる武器らしい

北海道 飯田 活魚

七尾市長賞

緞帳が下りる瞬間まで祭り

青森 高瀬 霜石

七尾市教育委員会教育長賞

七難をかくすと僕が消えました

石川 表 よう子

全日本川柳協会理事長賞

祭りです白で生まれて白で死に

北海道 田中 良積

先端にいるのは命ある兵士

岐阜 毛利まさ子

石川県川柳協会会長賞

泥水も火の粉も今のありがとう

石川 竹中つる子

モナリザはきつとモンペが似合うはず

茨城 小島 一風

第47回全日本川柳2024年広島大会

日時 令和6年6月16日(日) 午前9時開場

会場 JMSアステールプラザ

〒730-0081 広島市中区加古町4番17号

TEL082(244) 8000

交通機関

JR広島駅南口から

市内バス：広島バス24番路線 吉島営業所

または吉島病院行加古町下車(200m)

市内電車：宇品行(紙屋町経由) 市役所前下車(600m)

江波行 舟入町下車(400m)

タクシー：広島駅新幹線口から約200分

主催

一般社団法人全日本川柳協会

宿題 第一部(事前投句・4月15日締切) 当日消印有効

一般(高校生も含む)部門

「再び」鴨田昭紀 選(広島)

「ワイルド」小林信二郎 選(山梨)

「仕える」間瀬田紋章 選(宮崎)

「焦げる」高橋みつちよ 選(北海道)

ジュニア(小中学生)部門

「ふたたび」名雪凜々 選(千葉)

「こげる」瀧尻善英 選(青森)

「自由吟」真島久美子 選(佐賀)

(自由に作る)

投句料 一、〇〇〇円(定額小為替・現金書留)を同封して

下記あてに郵送または郵便振替口座へ送金のこと。

(当日消印有効)

※小中高生は投句料無料

投句先

〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北1-11-905

一般社団法人全日本川柳協会 宛

TEL06(6352) 2210

FAX06(6352) 2433

郵便振替口座 009701913575

全日本川柳広島大会実行委員長 弘兼 秀子

宿題 第二部(当日投句・11時締切)

「矢」平井美智子 選(大阪)

「百」大石一粹 選(秋田)

「酒」新家完司 選(鳥取)

各題二句、当日配布の句箋に記入

第二次選者

江畑哲男(千葉) 平田朝子(熊本)

佐藤美文(埼玉) 三上博史(栃木)

西美和子(兵庫)

参加費 四、〇〇〇円(参加費・昼食代含む)

大会の問い合わせ先

〒723-0016 三原市宮沖4丁目4番3号 薮 帆子 方

第47回全日本川柳2024年広島大会実行委員会事務局

TEL&FAX0848(67) 9062

郵便振替口座 01390181113523

第47回全日本川柳協会2024年広島大会実行委員会

表彰式典Ⅱ川柳大会同一会場にて 午後から予定

〈表彰式典のご案内〉

(川柳文学賞・功労者・令和柳多留入賞者・大会10回連続参加者)

◎宿泊に関しましては、会場付近にはダイワロイネットホテル広島、ホテルエスプル広島平和公園、ドゥーミーイン広島などのホテルがございますので、ご自身でのお手配をお願いします。



「清流の国ぎふ」文化祭2024

川柳作品募集要項（概要）

日時／ 令和6年 **11月10日**（日）9時30分開場

場所／ **岐阜市民会館 大ホール**

〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目6番地

電話：058-262-8111

交通アクセス

岐阜バス JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から乗車

「市民会館・裁判所前」下車すぐ

駐車場無し（周辺の有料駐車場をご利用下さい。）

川柳の祭典

事前投句

（二句詠・当日消印有効）

令和6年5月1日（水）～7月31日（水）

「天下」… 荒川八州雄（愛知）

「ペーパー」… 大嶋都嗣子（三重）

「つなぐ」… 赤池 加久（石川）

「演劇」… いしがみ鉄（東京）

第二次選者

松代 天鬼（愛知）

坂下 清（富山）

浪越 靖政（北海道）

駒木 香苑（福島）

岡田 篤（兵庫）

当日投句

（11時00分締切）

「アニメ」… 北山まみどり（青森）

「座」… くんじろう（大阪）

「飼う」… 弘兼 秀子（広島）

問い合わせ先・投句先

〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北

1-11-905

一般社団法人全日本川柳協会

TEL (06) 6352-2210

FAX (06) 6352-2433

記念講演「日本語の魅力、川柳の魅力」

麗澤大学非常勤講師 江畑 哲男 氏

応募料

事前投句1,000円、当日投句1,000円

（ただし、海外投稿者、障がい者手帳の写しを添付された方は無料）

今後の全国大会予定

▼ 広島

2024年6月16日(日)
JMSアステールプラザ

今後の国民文化祭予定

▼ 岐阜

2024年11月10日(日)
岐阜市民会館 大ホール

▼ 長崎

2025年秋(長崎市)

▼ 高知(内定)

2026年秋

句集を出したら

日川協・日本現代詩歌文学館
国会図書館に寄贈しましょう

地震に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます

編集後記

☆「案ずるより産むが易し」ということわざがある。皆さんご存知の通り、「あれこれ心配するよりも、実際にやってみたら案外簡単だった、上手く運べた」という意味である。この箴言が過日の東日本の常任幹事会で飛び出した。関東のある句会の代表者が初めての誌上大会を成功させた、その報告の枕詞として使われたのがこの言葉。この報告を出席者全員が嬉しく聞いたのは言うまでもない。

☆さて、コロナが明けて「いよいよ」だ。本格的な川柳活動やイベントの再開に向けて、大いに奮闘していこう！ その際「案ずるより産むが易し」を合い言葉にして。

☆所詮、何をやるにも大変なのだ。苦労が伴う。どうせやるなら、やらなきゃイケナイことなら、楽しくやっていきたい。仲間も全国にいる。進んだ実践、参考になる資料も少なからず持ち合わせている。欲しいのは人材とお金だ。こちらも率直に大胆に訴えながら、進んでいこう！

☆数年来、日川協では可能な限りの「見える化」を図っている。元気を貰えそうな実践は順次紹介するよう心がけている。一番新しいところでは国民文化祭いしかわの作品集。そこには、特別寄稿「台湾川柳会と私」(杜青春)が掲載されている。日川協の機関誌に外国の川柳人が執筆するのはたぶん初めて。しかも、出色の出来映えだ。ぜひ味わって読みいただきたい。

☆その台湾川柳会では、来る3月3日(日)創立30周年記念大会を台北市で開催する。日本以上の高齢化に悩みながらも、若い世代への新鮮でユニークなアプローチも試みているらしい。日本の川柳仲間と杜青春さんを知らない人はいない。ぜひ応援していきたい。

☆最後になりましたが、一月一日に発生した能登地震。犠牲になられた方々、被災されたすべての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。国文祭いしかわのスタッフの皆さんには、改めて御礼申し上げます。皆さんのおかげで、国文祭が大成を収めました。有り難うございました。

(事務局長 江畑哲男)